



社会課題

冷凍冷蔵倉庫が抱える需給ひっ迫・
特定フロン2030年問題・老朽化等の課題、
物流業界における人手不足

■ 取り組み概要

- ✓ 「不動産を通じた社会課題の解決」をテーマに支店・本部で協働し、冷凍冷蔵“自動”倉庫での不動産ノンリコースローン実行を実現
- ✓ 銀行にとって初の取り組みもあったが、支店×本部×審査の協働で推進することで実現に至った



冷凍冷蔵倉庫が抱える需給ひっ迫、特定フロン2030年問題、老朽化に加え、物流業界問題の「人手不足」の解決に資する取り組みに挑戦

考えたこと
M
U
F
G
が

MUFGとして初めて冷凍“自動”倉庫を対象としたノンリコースローンを実現。MUFGとしての知見向上

今後も、All MUFGで「世界が進むチカラになる。」を体現し続けていく



実現すること
M
U
F
G
が

ストーリー4

当行初！冷凍冷蔵“自動”倉庫へのファイナンス

■ 冷凍冷蔵“自動”倉庫の不動産ノンリコースローンの融資

- 「不動産を通じた社会課題の解決」をテーマに支店（虎ノ門）×ソリューションプロダクツ部（不動産ファイナンスグループ）で協働し、他のメガバンクでも取り組み事例のなかったアセットタイプ（冷凍冷蔵“自動”倉庫）での不動産ノンリコースローンを実行
- 審査も含めて銀行一体となってお客さまのビジネスモデルを勉強し、お客さまを徹底的に知っていったことで、銀行にとって初の取り組みを実現

■ MUFGがめざす価値創造



施策・取り組み

- ✓ 冷凍冷蔵倉庫の需給ひっ迫を緩和に向けた取り組み
 - 冷凍冷蔵自動倉庫への不動産ノンリコースローンの実行

社会的インパクト・達成したい状況

短～中期

- ✓ 新設備へのファイナンス知見集積
- ✓ 需給ひっ迫・老朽化・人手不足に対応

長期

- ✓ 資金流入増加による新規事業の成長
- ✓ 物流機能安定化による経済活動の活性化

■担い手は語る

Q どのような想いで本取り組みを行いましたか？

A 本事案は、社会課題の解決に資する取り組みと考え、お客さまのために、世のために出来る仕事としてMUFGの成長×変革という枠組みにのせて挑戦したいと考え、取り組みを行いました。

Q 今後取り組んでいきたいことはありますか？

A SPD不動産ファイナンスGrでは前述の“3本柱”の方針を掲げ、MUFGで不動産ビジネスに関わる我々が「成長実感を得られる」「誇りを持てる」「周囲から敬意や憧れをもって見られる」存在（エッジのきいた集団）をめざしております。今後も本案件に限らず、MUFGのネットワークを最大限に活かし、MUFGのプレゼンス&バリューの向上に資するダイナミックかつエッジの効いた取り組みを行っていききたいと思います。



虎ノ門支店、ソリューションプロダクツ部の社員